



ものづくりインキュベーションセンター 入居者審査委員会 開催報告

当機構入居者審査委員会が開催され、延長申込企業2社の延長と、新規入居申込1社の入居が決定いたしました。

【延長】

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
6	アルファ電子株式会社 代表取締役 樽川 久夫	米粉100%のグルテンフリー麺の研究開発	令和3年6月20日～令和4年6月19日
11	株式会社benefic 代表取締役 小林 聖	きゅうりのスマート農業と6次化	令和3年6月1日～令和4年5月31日

【新規】

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
5	林 英一	有機物熱分解装置	令和3年5月24日～令和4年5月23日

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会総会を開催

5月14日に、郡山ビューホテルアネックスにおいて郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会総会を開催しました。総会においては、新委員を選出したほか、令和2年度の事業報告・決算及び令和3年度の事業計画や予算について承認いただきました。

<今年度の主な事業内容>

- ・DX セミナー(年間4回程度予定)
- ・ロボット教室(夏に開催予定)
- ・ハッカソン



コロナ対策をして開催



会長からの挨拶

Technological Column(今月のコラム)～新技術情報などを毎月紹介します～

今回は、「高出力な高効率モーターコイル(ASTコイル)」を開発している「株式会社アスター」をご紹介します。本郷武延社長は、かつて福島県内に本社のあった別企業の秋田工場工場長をされていたが、リーマンショック等による業績悪化で工場閉鎖を余儀なくされました。本郷氏は、従業員の雇用を守るために工場を引き継ぎ、現在のアスターを2010年に設立。新会社として、複数の部品を接合させる「カシメ接合」など、これまで培ってきた技術を武器に自動車用部品や雪国ならではの融雪シートのほか、LED照明などを製造販売されました。現状に満足することなく、本郷氏が新たに活動を始めたのは、全く別の事業。生活に欠かせない衣・食・住に加えて『動』が重要な要素だと考え、高性能コイルに着目しました。

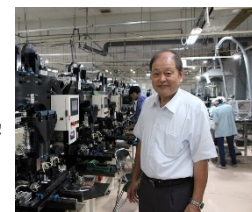


ものづくりインキュベーションセンター 管理員兼技術コーディネーター 佐藤 喜幸

2017年4月に高効率・小型化のモーターコイル「ASTコイル」の量産化に向け、開発拠点としてテクノポリスものづくりインキュベーションセンター内に「テクノラボ郡山」を設立しました。

2019年には、新工場を秋田県横手市に建設、翌年から「ASTコイル」を使用した世界最高性能を有するモーターの量産化をスタートさせています。

電動化社会に向けて、多くの企業からオファーを受けていると嬉しい報告があり、株式会社アスターの更なる発展、新技術開発に期待したいと思います。



技術革新や製品開発に対して、いつも前向きな 本郷社長

